

- 1 学 年 小学校 5 年
- 2 テ ー マ 流れる水のはたらき
- 3 時 期 秋
- 4 所要時間 前半 4 5 分・後半 4 5 分
- 5 人 数 3 0 人程度
- 6 活動場所 スタディールームなど
- 7 準 備 小石（2 種類程度）、水、小石と水を入れるケース、岩石サンプル（上流・中流・下流）
- 8 展 開 例

学習活動及び内容	指導・援助の留意点
1 本時の学習内容を把握する。 流れる場所によって、河原の石に違いが出るわけを考えよう。 2 石の変化を調べる。 （1） 実験方法を確認する。 （2） グループに分かれ、実験をする。 （3） 実験結果や考察をワークシートにまとめる。	・前時までの学習を想起させ、本時の学習内容を確認する。（担任） ・実験方法や器具の使い方、注意点等について確認をする。（博物館職員） ・グループの実験がスムーズに進むよう支援する。（学校職員・博物館職員） ・実験の結果からわかることをワークシートに記入させる。（担任）
3 結果を発表する。 4 本時のまとめとふり返しをする。	・本時のまとめは、児童から出た言葉を使いながらまとめるようにしたい。（担任） ・河原の石の様子について補助的な内容の説明をする。（博物館職員） ・本時のふり返しを書かせる。（担任）